

アカデミック・サポートセンターニュース

第9号 2013年 9月

本紙では、最近のアカデミック・サポートセンター(ASC)の活動状況などを報告します。第9号では2013年度第1学期授業期間(4月10日～8月5日)のASCでの学習支援や進路相談の様子をお伝えします。

1学期授業期間の利用状況

新たに2つの支援がASCに登場しました。1つ目は「英語コミュニケーション」です。新渡戸カレッジ開校に合わせ、英会話のスキルアップをサポートしました。北図書館のグループ学習室にて、毎回4～5人程度の学生が留学生のTAを囲み、実際の留学を想定したテーマで英会話に励みました。全14回の実施で延べ57人の参加がありました。

2つ目は「物理学 初級ゼミ」です。学習サポートでも物理学は質問の多い科目の一つであり、高校物理未履修者にとっては特に難しく感じられるようです。そこでASCは全5回にわたる基本問題の解説を中心としたゼミを担当しました。参加者は毎週平均20名

程で、試行錯誤の末、最後には「講義についていけなかったので、このような機会があり、助かった。」クラスの中でも得意になれた。」



期末期の個別学習相談の様子

という声を聞くことができました。2学期も開講の予定です。

学習サポートには、4月10日から8月5日までに延べ1354件

～スタッフの心象 第2回～

つい先日まで学習サポート室は賑わっていた。さっぽろ夏祭りにも負けない熱気である。期末試験前の大入りだ。「物理と化学を教えてください。」「はい、こちらにどうぞ。」

1学期終了直前の約3週間で、延べ428人の学生が個別相談に訪れた。学習サポート室には自習スペースも設けられており、こちらを利用した学生を含めると、さらに多くの利用があったと考えられる。この時期に学習サポートを利用する学生は3つのタイプに分かれる。1つ目は、自習スペースで黙々と勉強しながら、分からないところを聞いてくるタイプ。スタッフとも顔なじみの常連だ。2つ目は、たまに現れ質問していくタイプ。最も多い通常のタイプで、試験が近づくにつれて質問頻度が上がってくる。3つ目は、試験直前に現れ、分からないところをすべて質問するタイプ。試験前日であればま

の利用がありました。延べ人数では昨年度より100件程度減少しましたが、実人数は僅かに増加しています。統計学と、2年生以上の学生からの質問が多く見られたのが今学期の特徴でした。過去にASCを利用した学生が2年生になっても繰り返し利用しているよう



英語コミュニケーションの様子
(中央はTAのジャルキンキジ・ジャイナさん)

です。今学期に初めて学習サポートのチューターを経験した岡田妃乃子さん(修士一年、数学担当)と松山亮祐さん(修士一年、物理学担当)からは、それぞれ「質問者と同じ目線になることを心がけ、徐々に質問者の思考回路に沿って解説を行えるようになった」、「学生の主体性を引き出すためにどうすべきなのかを考えていきたい」という感想が聞かれました。

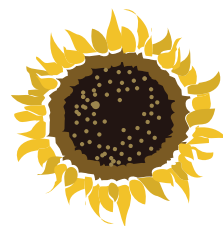
履修・進路相談には昨年度と同程度の延べ341件の利用があり、科目履修に関する相談が多く見られました。夏休み最終週には、移行ガイダンスや学部・学科等紹介が行われます。ASCでも、学部学科等紹介イベント(9月26日)において「進路相談会」を開催する予定です(裏面参照)。



このコーナーではアカサポに寄せられる進路・修学・学習相談の内容を元に、相談現場の様子をお伝えします。

だマシで、中には試験が始まる30分前というケースもある。学生も焦っているが、こちらも説明にエネルギーを使う。室内温度上昇の一番の要因であろう。

夏休みを迎え、静かになったサポート室を整理しながら思う。試験前で学生に時間的な余裕が無い場合、大筋の説明で「分かりました。ありがとうございました。」と、学生から対応を打ち切られることがある。「もう少し中身を突き詰めた方が・・・」と思い、引き留めようか迷う。「また質問があれば来て下さい。」と学生本人の意志を尊重するのか、「ちなみにここはなぜですか?」と続けるのか、どちらが学生のためなのだろうか。

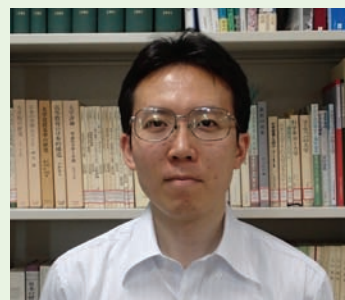


アカサポ・コラムはASCスタッフの生の声をお届けします。第5回は、ASCスタッフOBの竹山先生のコラムを掲載します。

「学習支援の未来」

竹山 幸作

高等教育推進機構 特任准教授



「新しく始まる入試制度において、学生支援をするスタッフを募集しているから応募してみないか」とお世話になっている先生からお話をいただいたのが平成21年の夏。縁あって、アカデミック・サポートセンター(ASC)の前身にあたるアカデミック・サポート推進室の立ち上げから、昨年9月までASCスタッフを務めました。現在は、高等教育開発研究部門にて、教員研修やTA研修などの教育支援を主に担当しています。本コラムでは、ASCの主要業務の一つである学習サポートについて、当時を振り返りつつ、今思うことを述べたいと思います。学習サポートは、ASCスタッフやチューター(大学院生TA)による個別対応型の学習支援制度です。学生の主体的学習の支援を目的としているため、課題の完全な解答を示

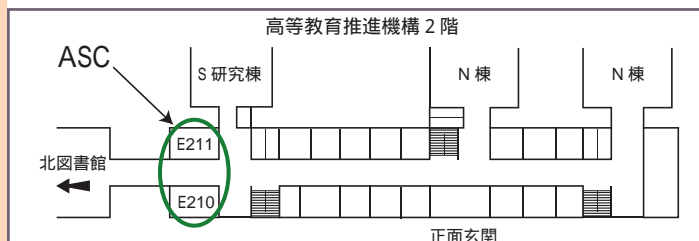
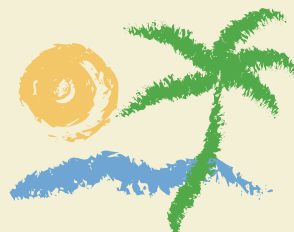
すことはしません。私も物理学や数学を担当しましたが、大半の学生は「この問題がわかりません」と教科書やプリントの問題をもってきます。まず、立式はできている場合はどの計算がわからないのか、立式ができていない場合は必要な公式を理解しているのか...など学生が引っかかっている点を把握した上で、教科書等を活用しながらヒントを与えつつ、学生を正解に導く手助けをします。この問題点を把握し、完全な解答を示さずに学生を導く一連のプロセスはかなりたいへんで、一朝一夕にはできません。同様の質問への対応を重ねる毎に、上手に対応できるようになることに喜びを感じていました。学習サポートの延べ利用者数は、平成23、24年度ともに2000名を超え、全国的にみても成功している事

例といえます。よって、この学習サポート活動により得られた、知見やノウハウは宝の山ともいえるでしょう。これを、学生の充実した学びに向けた教育改善に活用しない手はありません。教授者、学生、学習支援者、教育支援者の学びのサイクル構築に向けて、ASCとの協力関係を深めたいと考えています。来年度は、学習サポートも5年目になり、学習サポートを利用したことのある学生がチューターとなることも可能になります。また、今年度新しくASCスタッフに加わった浅賀さんはチューター経験者です。利用者・経験者の視点から新しい知見・サポートが生まれ、充実した学習支援に繋がるとともに、時系列的な教育資源の活用サイクルを構築することを期待しています。

2学期前半のASC関連イベント予定

- 9月25日(水)：学部・学科等移行ガイダンス
- 9月26日(木)：学部・学科等紹介【ASC進路相談会】
- 9月27日(金)：第2学期授業開始【2学期学習サポート開始】
- 10月初旬予定：【2学期スタディ・スキルセミナー】
- 10月下旬予定：「物理学II初級ゼミ」

上記イベントの詳細はASC掲示板・ウェブサイトで案内します。



アカデミック・サポートセンター

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目
北海道大学 高等教育推進機構 2階
E210(相談) E211(学習サポート)

T E L 011-706-7526

E-mail asc@high.hokudai.ac.jp

U R L http://asc.high.hokudai.ac.jp/



2013年9月2日発行